

空港手続きの電子化を目指した「e-Passport 連携実証実験」をスタート

～ 「航空保安」と「搭乗手続きの簡素化・迅速化」の両立を目指して ～

ANA グループでは、内閣官房並びに国土交通省など関係府省による「e-Passport 連携実証実験」に参画することとなりました。国際線ご利用のお客様に対して、インターネットとバイオメトリクス技術を活用してチェックイン・保安検査・出国審査など一連の国際線搭乗手続きの簡素化と迅速化を進め、お客様にとって利用しやすい空港づくりを目指した実証実験を行ってまいります。

2003年12月より、成田空港の旅客ターミナルにおいて、『バイオメトリクス機能搭載の自動チェックイン機』と搭乗口における『顔認証による搭乗改札方式』という2つの実験を含む「e-チェックイン」実証実験を国土交通省、(現)成田国際空港株式会社・NTT データと共に実施致しました。

今回の実験は、一昨年度同様、安全で迅速な国際線渡航の実現にむけて、国際空港の高度 IT 化を先導する「e-エアポート」構想の一環となる実験であり、ICカード(実験用 SPT カード)を旅客 ID として活用し、搭乗手続きに加え、保安検査、出国審査においてもその活用についての実験を行うなど、旅客手続き全般にわたり実施するものです。

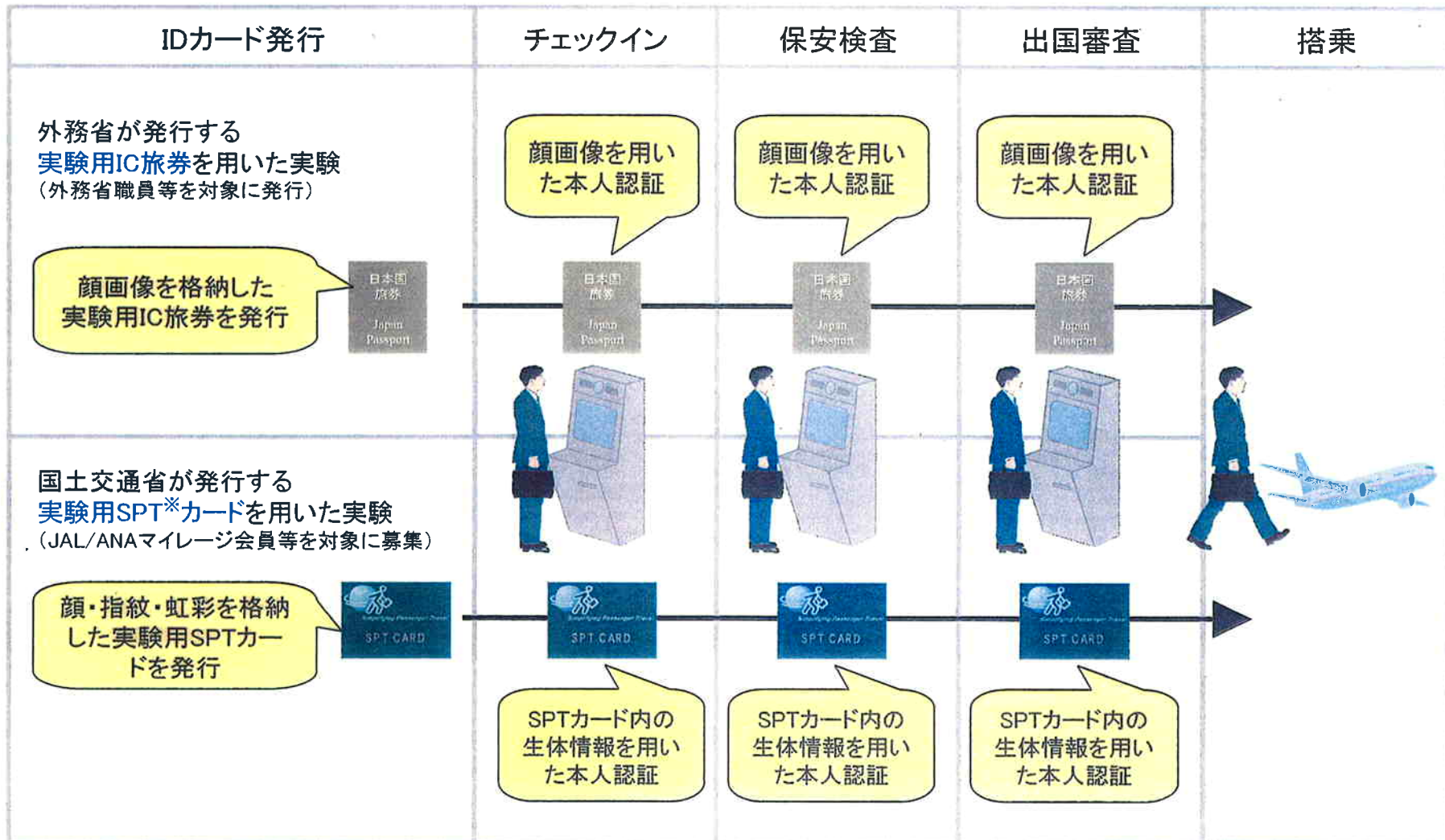
「e-passport 連携実証実験」の概要

1. 期間(予定) 2005年2月上旬～2005年3月下旬
2. 対象のお客様 ANA マイレージクラブ会員で成田発国際線 ANA グループ運航便を e-チケットでご利用いただくお客様
3. 実験の概要 インターネットとバイオメトリクス技術を用いることで、チェックイン・保安検査・出国審査など一連の搭乗手続きの簡素化と迅速化をめざします。

詳しくは「e-passport 連携実証実験イメージ図」をご覧ください

以上

16年度e-Passport連携実証実験 概要図(イメージ)



※ Simplifying Passenger Travel(国際空港における旅客手続きをITを用いて簡略化する取組み)